



DAS-JAPAN NEWS 第4号：2011年4月1日

■東日本大震災で何かが変わる？

先月発生したM9の大地震は1000年に一度ほどの頻度で起こる大地震といわれています。弊認証機関に登録頂いている組織の中で、不幸にも被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。何せ発生当時震度5弱以上が17都道府県に及んだといえますから、いかに今回の地震は大規模で広範囲な地震だったかがわかります。しかも想像を絶する大津波と原発事故、まさに世界的な大惨事に見舞われてしまいました。そのような中で、東京電力の福島原子力発電所が大災害を受けたことで電力不足が深刻化し、東北・関東一円で「計画停電」が始まりました。それにまだ水やガスなどのライフラインが止まっているところが数万～数十万戸あるとのことですから、被災者の思いはいかばかりでしょう。さて、このような災害に遭遇し、あらためて私達は普段の生活がいかに「飽食」だったかが思い知らされます。都会では、街には一晩中きらびやかなネオンや灯りが煌々と瞬き、24時間いつでも利用できるコンビニ、スーパーそれに自動販売機などが至るところにあり、その上電車などは2～3分間隔で運行してくれますから、このような便利な国は、おそらく世界中どこにもないでしょう。最近電力不足から計画停電が始まりましたが、大半の国民が戦後生まれに移行しつつある中では、初めて経験される人々が圧倒的ではないでしょうか。それにしても身の回りのほとんどのものが、電気がないと何一つ使えないことを痛いほど感じたと思います。普段これほどまでに電気に頼った生活をしているわけですが、こと電力についてはいつまでも無尽蔵に使えようと考えている人が少なくないと思います。

■ライフスタイルの見直し

まさに今回の地震は、ISO14001の「電力量削減」と「緊急時対応」が同時に試されているともいえます。計画停電が始まってから、従来の電力量の30%が削減できたといわれています。街からはきらびやかな明かりが消え、電車の本数が減り、早めに店じまいするところが増え、今までの生活に慣れてしまった人々には寂しい気もしますが、今度はこれに慣れてしまえば、あまり気にならなくなるのが人間の性ではないでしょうか。

欧州の多くの国々では、午後8時過ぎになると大半は店じまいし、みな自宅でのんびりとくつろぎます。人間は昼間は活発に働き、夜はしずかに休息をとるのが自然な営みだからです。

東電によれば、夏場はクーラーなどの使用で計画停電は避けられないとのことですが、国民ひとり一人の少しのがまんで停電だけは避けたいものです。現代の世の中は、停電されると困るところは枚挙にいとまがありません。鉄道、病院、スーパー、交通信号、ホテル、公共施設、メーカー、サービス業など、電気が来ないことには話になりません。

今回の震災により、我が国は強制的に大幅な電力量の削減に舵を切りました。当初慣れないうちは確かに不便を感じるかもしれませんが、今までの飽食のライフスタイルを見直す絶好のチャンスであることも事実です。日本人はのど元過ぎればすぐもとに戻ってしまう傾向がありますが、今回の教訓をもとに、いかに電力を減らした生活が可能であるかも体得して欲しいものです。



DASジャパンから

審査員研修会開催！

恒例のDASジャパン審査員研修会が下記の要領で開催されました。当日は震災後にも関わらず、遠く九州や岡山の審査員も参加されました。審査員どうし初対面の方もおりましたが、グループディスカッションでは和やかな意見交換が行われ、レベルの高い結論が出されました。また、2人の審査員から専門知識についての講義が行われ、参加した審査員からも活発な質問が出されたりと、有意義な講義になりました。最後にDASジャパン代表の萩原から研修会の総括が行われ、「組織に役立つ審査」はどうあるべきかの訓話で閉会しました。

審査員研修会開催要領

1. 日時：2011年3月21日（春分の日）13:00～17:00
2. 会場：あうるすぽっと ライズアリーナビル3F（有楽町線東池袋駅直結）
3. テーマ
 - (1) DASジャパンの現状と審査手順
 - (2) 付加価値審査について（グループディスカッション）
 - (3) 専門知識
 - 1) 光通信機器 2) 金属加工
 - (4) DASジャパンから



グループディスカッション風景



得意分野で講義する林主任審査員

ISO認証機関 DASジャパン(株)

代表取締役 萩原睦幸

豊島区東池袋 4-27-5 LP 池袋 903

info@das-japan.jp

<http://www.das-japan.jp>



(編集責任者 萩原由利)